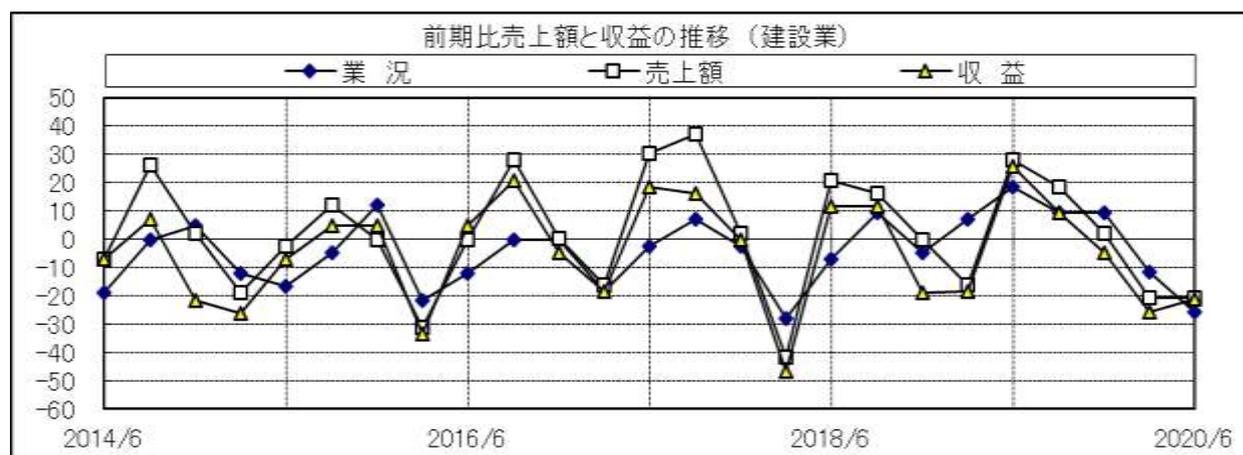


## 建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

### □ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	9.3	-11.6	-25.5	7.0
売上額	2.3	-20.9	-20.9	18.6
収 益	-4.7	-25.5	-21.0	9.3

今期の業況判断 D. I. は $\Delta 25.5$  で、前期比 13.9 ポイント下降、前年(18.6)比では 44.1 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、様似が最も高く、浦河、三石、広尾、静内と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、 $\Delta 20.9$  で、前期と同水準となった。収益判断 D. I. は $\Delta 21.0$  で、前期比 4.5 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
請負価格	9.3	-2.3	-4.7	11.6
仕入価格	37.3	30.2	21.0	25.6

請負価格判断 D. I. は $\Delta 4.7$  で、前期比 2.4 ポイント下降、前年(18.6)比 23.3 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 21.0 で、前期比 9.2 ポイント下降、前年(18.7)比 2.3 ポイントの上昇となった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	2.3	4.6	-9.4	14.0
人手状況	-30.3	-16.3	-16.3	-34.9

残業時間判断 D. I. は $\Delta 9.4$  と前期比 14.0 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 16.3$  と、前期と同水準となり、人手不足感に変化はなかった。

## □ 設備投資の動き

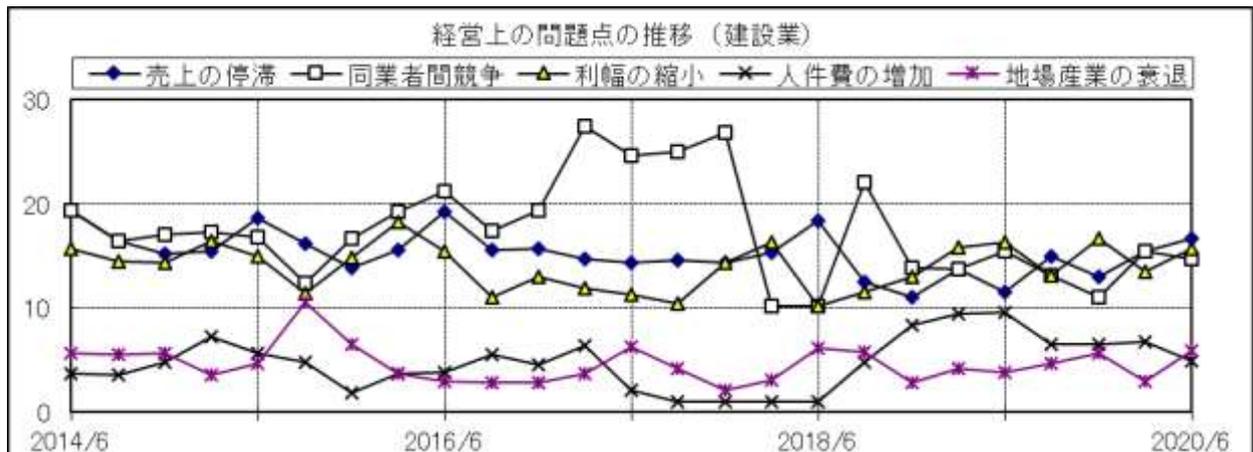
設備投資の充足感を示すD. I. は9.3で、前期(4.6)比4.7ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は11.6で、前期(14.0)比2.4ポイント下降した。設備投資は、前期6社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」16.7%が最も多く、次に「利幅縮小」15.7%、「同業者競合」14.7%、「人手不足」13.7%、「材料価格上昇」7.8%、「大手企業競合」・「地場産業衰退」が5.9%、「下請確保難」・「人件費増加」が4.9%、「技術力不足」2.9%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」60.5%が最も多く、次に「技術力強化」41.9%、「人材確保」37.2%、「販路拡大」34.9%、「情報力強化」23.3%、「教育訓練強化」・「労働条件改善」7.0%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は7.0と、今期比32.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は18.6と、今期比39.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は9.3と、今期比30.3ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は11.6と、今期比16.3ポイントの上昇を見通している。

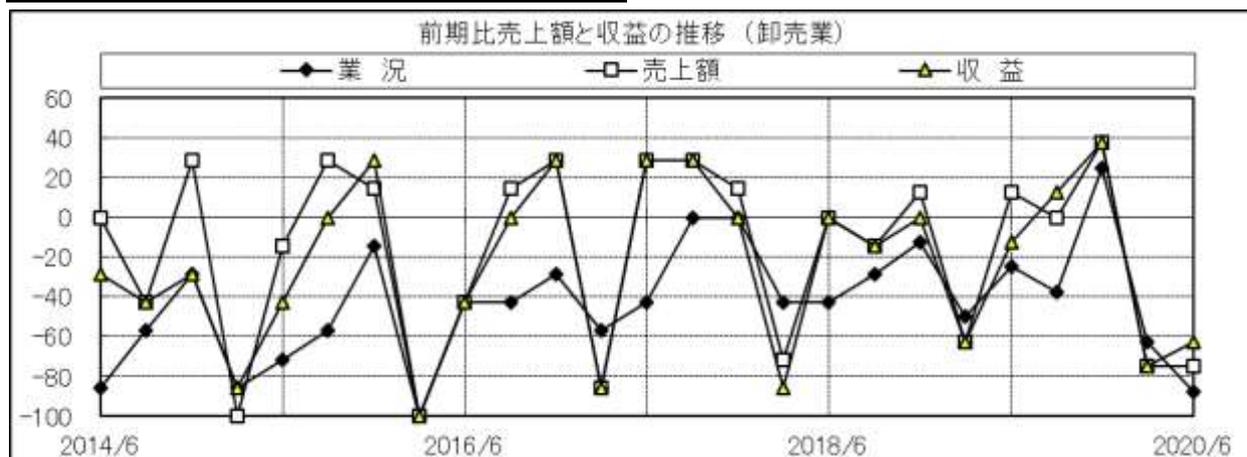
予想仕入価格判断D. I. は25.6と、今期比4.6ポイントの上昇を見通している。

## 卸売業 8企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業況	25.0	-62.5	-87.5	-75.0
売上額	37.5	-75.0	-75.0	-12.5
収益	37.5	-75.0	-62.5	0.0

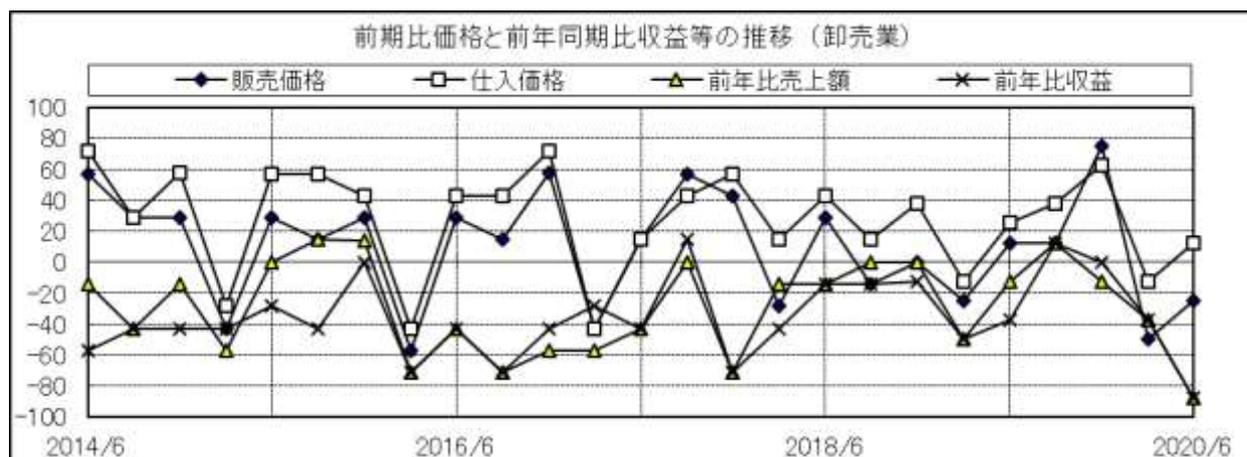
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 87.5$  で、前期比 25.0 ポイント下降、前年( $\Delta 25.0$ )比 62.5 ポイント下降した。地区別の水準は、浦河・静内が下降し、様似は同水準となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 75.0$  で、前期と同水準。収益判断 D. I. は $\Delta 62.5$  で、前期比 12.5 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	75.0	-50.0	-25.0	12.5
仕入価格	62.5	-12.5	12.5	12.5

販売価格判断 D. I. は $\Delta 25.0$  で、前期比 25.0 ポイント上昇、前年(12.5)比 37.5 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 12.5 で、前期比 25.0 ポイント上昇、前年(25.0)比 12.5 ポイント下降した。業種別では、水産業は仕入価格が上昇、食品業は販売価格が上昇。他は同水準となった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	-12.5	-12.5
人手状況	-37.5	12.5	12.5	-12.5

残業時間判断 D. I. は $\Delta 12.5$  で、前期比 12.5 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は 12.5 で前期と同水準となり、人手不足感に変化はなかった。

## □ 設備投資の動き

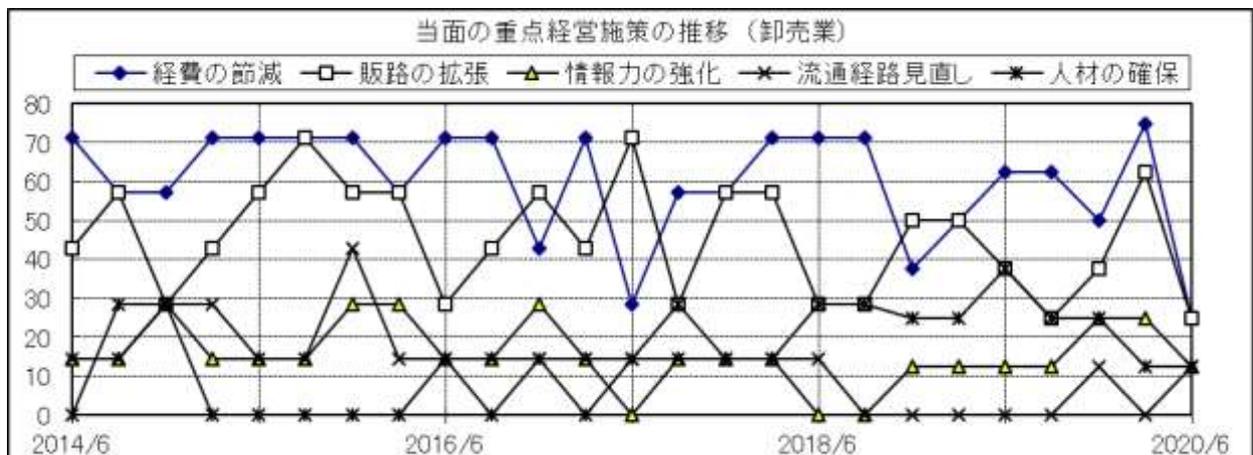
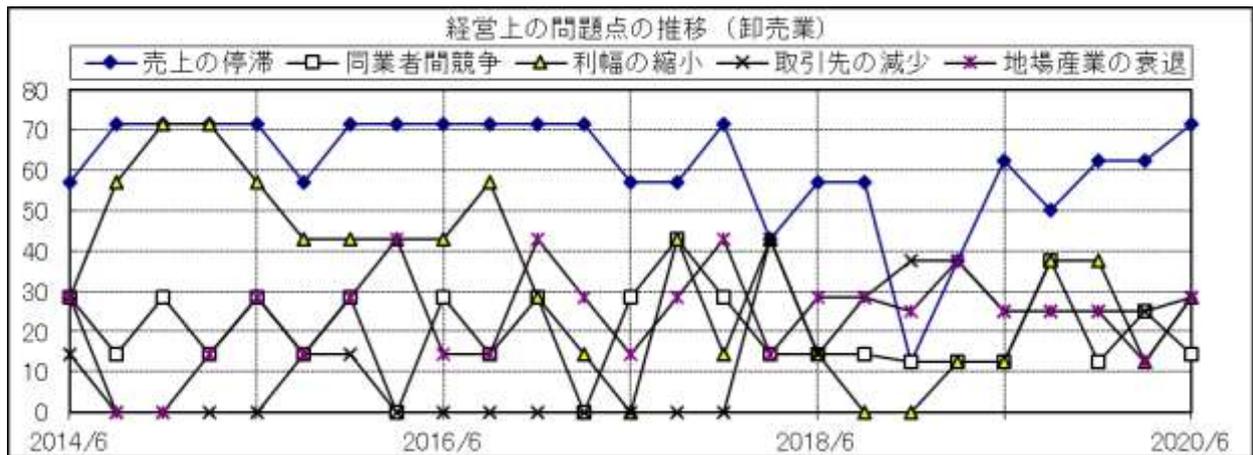
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期と同水準となった。

設備実施企業割合は0.0で、前期と同水準となった。設備投資は、前期0社に対し、実施企業は無し。来期の設備投資予定は1社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が71.4%と最も多く、次に「利幅縮小」・「取引先減少」・「地場産業衰退」が28.6%、「同業者競争」・「輸入製品競争」・「販売商品不足」・「店舗老朽化」・「天候不順」・「為替レート変動」が14.3%となっている。

重点経営施策では、「販路拡大」・「経費節減」が25.0%と最も多く、「情報力強化」・「新事業開始」・「連携先確保」・「人材確保」・「流通経路見直し」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 75.0$ と、今期比12.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 12.5$ と、今期比62.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は0.0と、今期比62.5ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は12.5と、今期比37.5ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は12.5と、今期と同水準と見通している。